



本に親しむ秋～読書週間がありました～



10月26日(月)から10月30日(金)の期間は読書週間でした。読書週間のねらいは、忙しい高校生に読書の時間を確保してもらい、さまざまな本と出会うことによって、読む力や考える力をつけてもらいたいとの願いがあります。この期間、生徒は各自読みたい本を持参し、お昼のSHRやLHRの時間に先生たちと一緒に読書します。読書が苦手

な生徒に向け、図書委員おすすめの読みやすい本も図書館に展示されました。また、本を借りた生徒には雑誌の付録がもらえる抽選券を1枚配布し、抽選で当たった生徒には付録がもらえるというイベントも行われました。読書週間を機に、秋の夜長に少しでも本に触れる時間をとってもらえればと願っています。(みのしんパワー②「前進する力」)

地域を美しく～学校周辺の掃除を行いました～



10月30日(金)の放課後、生徒会新旧執行部役員による校外清掃が行われました。これは、毎年1回生徒会執行部によって行われる恒例の行事となっています。当日は新旧生徒会役員と新旧正副委員長を含め計約60人が参加しました。生徒たちは5班に分かれ、南は木下南保育園から北は役場までの間の、主に通学路を中心にゴミ拾い

を行いました。約1時間半、トングを片手に空き缶やペットボトル、コンビニ弁当の空き箱やたばこの吸い殻を拾い集め、大きなビニール袋が1杯になるくらいのゴミが集まりました。旧生徒会長の小林巧弥君(3年)は、「たばこの吸い殻とコンビニ弁当の空き箱が多いのに驚いた。旧役員としての行事はこれが最後なので寂しいけれど、これからも恒例の行事として地域の美化に協力し、地元の方々に愛される学校になって欲しい」と語ってくれました。(みのしんパワー③「協働する力」)



授業 スケッチ

～クリエイト工学科1年～



11月9日(月)の3時限、クリエイト工学科1年生の『工業技術』の授業にお邪魔してきました。工業実習は各学年週一回、午前3時間を通して工業実習室で行われる授業です。生徒たちは作業着に着替え、模擬工場において実践的な技術を学んでいます。座学では見られない、生き生きとした中にも少し緊張感をもった姿に出会えることができました。

生徒たちは、旋盤や溶接、鋳造などのグループに分かれて実習していました。旋盤の機械を操作していた生徒は、「仕上げの段階で機械の回転速度を調節するのが難しい」と話してくれました。金属ヤスリで部品を削っていた生徒は、「前後で水平になるように削っていくのが難しい」と、先生の指導を受けながら真剣に取り組んでいました。溶接で金属板同士を接合していた生徒は、完成したものを先生に見せたところ、一見良さそうに見えましたが細かいところで注意を受けていました。修正を重ねながら作業の精度を高めていく姿が印象的でした。実習を通して、より多くの“職人技”を身につけていって欲しいと思います。未来のクリエイターの卵たちのこれからの成長に期待したいと思います。(みのしんパワー①「考え抜く力」)



皆真剣なまなざしで作業に集中しています。



こんな部品ができました



箕輪進修高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minowa/>
箕輪進修高校の情報が満載。ぜひご覧ください。
学校に対するご意見・ご要望は、トップページの
問い合わせメールに送信してください。

